

内容理解(短文) Comprehension (Short passages)

次の(1)から(5)の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)

1 「許し」は、相手のためではなく、自分のためにするものです。

なぜなら、人は誰かを許せないとき、牢屋^{ろうや}の番人^{ばんにん}のように、ずっとその人のことを考え続けなくてはならなくなるからです。

その間ずっと、他に使える時間とエネルギーを、その人のために使っていることになります。

5 人を許すことで、余分なエネルギーを使わなくてもすむようになります。

その分だけ、本当に大切なことに意識を集中することができるでしょう。

勇気をもって、今日、誰かを許してあげてください。

(本田健『ピンチをチャンスに変える51の質問』大和書房による)

(注) 牢屋の番人：罪人が逃げないようにずっと見ている人

1 筆者が、誰かを許してあげてくださいと言っているのはなぜか。

- 1 人を許すことで、自分も許してもらえるようになるから
- 2 ^{だれ}誰かを許せないと思っている限り、その人の側に居続けなければならないから
- 3 人を許すことで、余計な時間や労力を使うことがなくなるから
- 4 ^{だれ}誰かを許せない間は、本当に大事なことに向き合うことが一切できないから

(2)

- 1 大きい変化の時期にあっても、周りのペースに巻き込まれず、平常心でいられる人がいます。こういう人たちに共通する特徴は、新しい環境へのイメージトレーニングができること。よくたとえられるのが「お化け屋敷」です。

- 5 ご存知の通り、お化け屋敷は、どこからお化けが出てくるかわからないからこわい。でも逆に、ここから出ますよ、というのを知っていれば、こわさがあっても、だいぶましになります。

ですから、新しい環境に入るときも、事前にどういうことが起こるかイメージして、心の準備をしておけば、そこでかかるストレスが減らせます。

(プレジデントオンライン<<https://president.jp/articles/-/44192?page=3>> 2021年3月22日による)

(注1) ペース：スピード

(注2) お化け屋敷：遊園地などにある、客を怖がらせるために作られた、お化けが出そうな建物

1 この文章で筆者が述べていることは何か。

- 1 そこで何が起きるか予測しておく、新しい環境でも落ち着いて行動できる。
- 2 準備をきちんとしていれば、自分に合った環境を作り上げることができる。
- 3 イメージトレーニングをすれば、新しい環境へのこわさは全くなくなる。
- 4 環境が変わるときは、ストレスを感じるので色々想像しすぎないほうがいい。

(3)

- 1 私が気になるのは「地球に優しく」という言葉です。とてもすばらしい言葉に聞こえますね。地球に優しくします。あまりごみは出さないようにしますとか、環境問題をよく考えますという意味で言っているということはわかります。言っている人の気持ちはわかりますが、地球に優しくと言うのは、上の世界にいると思うから言えることです。そうではなく、地球やその中に暮らす生きものたちに優しくしてもらって、お互い優しくし合おうね。そうしないと、私たち人間は生きていけないねというのが事実でしょう。人間は生きもの、自然の中の一部なのですから。

(中村桂子「知の発見「なぜ」を感じる力」朝日出版社による)

1 筆者はなぜ「地球に優しく」という言葉が気になるのか。

- 1 人間の優しさを表すすばらしい言葉だから
- 2 人間が上からものを言っているようだから
- 3 人間が言葉の通りにしていないから
- 4 人間にも優しくしてほしいから

(4)

- 1 「良薬は口に苦し」ということわざがある。よく効く薬ほど苦くて飲みにくいことから、「よい忠告は、聞くのは辛い^{こく}が、ためになる」という意味で使われる。昔の薬は苦かった。だから、このことわざは小さな子どもでもすんなりと理解できたものである。しかし、最近は錠剤^{じょうざい}やカプセルにして苦みを少なくし、飲みやすくなっている薬が多い。今の若者は、このことわざを聞いても何の^ことを言っているのかわからない人も多いだろう。ことわざは世代から世代へと言い伝えられてきたものであるが、意味が伝わらないのであれば、その価値はない。ことわざも時代にあわせて変えていくことはできないものだろうか。

1 この文章で筆者が最も言いたいことは何か。

- 1 薬は子どもでも飲めるように、飲みやすい形にするべきだ。
- 2 若者にことわざを理解させる機会をもっと増やしたほうがよい。
- 3 若者は年上からのアドバイスを、自分のためだと素直^{すなお}に聞くべきだ。
- 4 時代とともにことわざも変われば、若い世代にも意味が伝わるだろう。